

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782

40々々 中島課長あつづき 記 電話

（ライシャワー、社会党代表会談）

秘

アメリカ局長
参事
北米課長

ライオン大使と社会党代表の
沖繩問題についての会談

40.4.11
米、27

4月11日の東京新聞は「日米大使館工場の、大使沖繩問題発言」の記述を掲載し、4月12日の朝日紙は同報記事の記述を米大使館の釈明記事として報じた。27日、27日

4月11日 在京米大使館 プランス 著記

官より 中島北米課長に送る電報

連絡下記の通り

(1) 社会党 佐々木副委員長、松本教
宣局長、川崎寛治氏が、沖繩
視察旅行の結果について会談
した。このこと、9日 ライオン大使
と来訪した。

(2) 社会党側からは、平和条約第3条は
日連憲章違反である、又米国
は沖繩を信託統治制度に

GA-4

外務省

仕たい意向を表明しているのが、
平和条約3条は既に無効とな

つた。米国の沖繩施政は根柢
を失つていゝ等の議論を述べた。

3) 大使は、本日の会談は公開し、
この会談の
この約束で、個人的な自由な立場

を語る、そのことであつたので、
その結果として、
社会党は会談の内容を新聞

に公開し、即ち自ら発言の端を
曲解して之を新聞に流す措置をとつたこと
は、
一般に公表した。大使は怒つていゝ。

から此子

(4) 本件に對する大使館側の見解は、本日の(日)報
新聞社側の発表するところである。

GA-4

外務省